

2022年12月

北欧の名作椅子・インテリアアクセサリ・食器 300点以上を展示

“織田コレクション”の全貌に迫る初の展覧会

日本橋高島屋開店 90 年記念 「ていねいに美しく暮らす 北欧デザイン展」

- 会期 : 2023年3月1日(水) → 3月21日(火・祝)
- 会場 : 日本橋高島屋 S.C 本館 8階ホール



北欧の有機的で美しいデザインには暮らしや思想が強く影響しています。北欧では 19 世紀末から「美が人生を豊かにする」という考え方が浸透し、そして現在、サステナビリティやジェンダー平等、多様性を認める社会などの目標を高いレベルで実現しています。

「美しいデザインとともにある暮らし」—未来を考えると、私たちの暮らし方のヒントは北欧にあるのかもしれませんが。

本展は、椅子研究家の^{おだのりつぐ}織田憲嗣氏が収集、研究し、北海道東川町が所有する「織田コレクション」をもとに会場を構成。世界的にも名高い同コレクションの全貌に迫る初の展覧会であり、椅子などの家具からインテリアアクセサリや食器まで幅広く展示します。

さらに北欧の部屋をリアルに再現し、照明の使い方や窓の役割についてもお伝えするほか、北欧に暮らす人たちの日常生活を映像でご覧いただけます。

作品と実際の暮らしを通じて、北欧のデザインがもたらす力に改めて気づかされる展覧会です。

椅子研究家の織田憲嗣氏が長年かけて収集、研究してきた 20 世紀のすぐれたデザインの家具と日用品のコレクション。その種類は北欧を中心とした椅子やテーブルから照明、食器やカトラリー、木製のおもちゃまで多岐にわたる。さらに写真や図面、文献などの資料を含め系統立てて集積されており、近代デザイン史の変遷を俯瞰できる学術的にも極めて貴重な資料として世界的にも高い評価を得ている。北海道の東川町複合交流施設「せんとぴゅあ」にて常設展示。



おだのりつぐ
織田憲嗣氏 (写真①)

見どころ

1 総勢 70 名以上のデザイナーの、300 点以上の作品で北欧デザインを展観

椅子などの家具、インテリアアクセサリ、食器まで幅広いジャンルを紹介

写真② ハンス J・ウェグナー 《ピーコックチェア》

写真③ タピオ・ヴィルカラ 《ボッレ》

写真④ ビルゲル・カイピアイネン 《プレート》

写真⑤ イェンス・クイストゴー 《トルン》



(写真②)



(写真③)

2 世界でも希少な作品が見られる！

写真⑥ 現存は世界で唯一 ベント・ヴィンゲ 《イージーチェア》

写真⑦ 世界に 2 点だけ ハンス J・ウェグナー
《ザ・チェア プロトタイプ》

写真⑧ アアルト最初期のモデル アルヴァ・アアルト
《カンチレヴァーチェア》

写真⑨ サヴォイフラワーベースの特大サイズの吹き込み型
(高さ 1 m のサヴォイフラワーベースとともに展示します)



(写真⑥)

3 日本橋高島屋開店 90 年記念展示

日本橋高島屋は 1933 (昭和 8) 年 3 月に開店。展覧会会期中に開店から 90 年を迎えます。これを記念し、同じ 1933 年にデザインされたコア・クリントの《デッキチェア》(写真⑩) 《サファリチェア》を、会場入口の 90 年の歴史を感じる大理石の階段に展示します。また、同じく 90 周年を迎えるアルヴァ・アアルト《スツール 60》(現行商品)をミニシアターに展示・設置。実際にお座りいただきながら映像をお楽しみいただけます。

4 北欧の建材で作る部屋と照明の演出

北欧の建材メーカーの窓枠、床材を使用してダイニングルーム、リビングルームを作ります。そこに織田コレクションの家具を展示し、北欧の照明(現行商品)で演出を行います。北欧の名作椅子(現行商品)にお座りいただきながら、部屋と演出をご覧いただけます。

プロローグ どうして北欧に惹かれるんだろう

第1章 椅子と生きる ～Chairs for life～

北欧各国の名作椅子を一堂に展示

写真⑪ エリック・グンナール・アスプルンド
《セナラウンジチェア》



(写真⑪)

第2章 デザインの源泉 ～Design beginnings～

北欧の巨匠 10 名を多くの作品を展示して深掘り

[デンマーク] アルネ・ヤコブセン／フィン・ユール／
ハンス J・ウェグナー／ヘニング・コッペル／
イエンス・クイストゴー／ポール・ケアホルム
[フィンランド] アルヴァ・アアルト／カイ・フランク／
タピオ・ヴィルカラ／ティモ・サルパネヴァ
写真⑫ タピオ・ヴィルカラ 《アイスブロック》



(写真⑫)

第3章 心の居場所 ～Where the heart is～

北欧の建材で作る部屋に椅子や家具を展示し照明で演出

第4章 美しい同居人 ～Handsome housewares～

インテリアアクセサリや食器などアートピースを交えて展観

写真⑬ カイ・ボイスン 《ライオン》

写真⑭ ニルス・ランドベリ 《チューリップグラス》



(写真⑭)

第5章 ていねいに暮らす ～Living mindfully～

北欧の人々の暮らしをオリジナル映像で紹介するミニシアター

写真⑮ 本編のイメージカット



(写真⑮)

エピローグ つづく、まわる、北欧の社会

開催概要

- <展覧会名> ていねいに美しく暮らす 北欧デザイン展
- <会場会期> 日本橋高島屋 S.C. 本館 8 階ホール 2023 年 3 月 1 日(水)~3 月 21 日(火・祝)
- <ご入場時間> 午前 10 時 30 分~午後 7 時 (午後 7 時 30 分閉場)
※最終日 3 月 21 日 (火・祝) は午後 5 時 30 分まで (午後 6 時閉場)
- <入場料> 一般 1,000 円 (800 円)、大学・高校生 800 円 (600 円)、中学生以下無料
※ () 内は前売り料金
- <主催> 北欧デザイン展実行委員会
- <後援> スウェーデン大使館/デンマーク大使館/ノルウェー大使館/
フィンランド大使館
- <特別協力> 織田憲嗣 (東海大学名誉教授) /北海道東川町
- <協力> 織田コレクション協力会/旭川家具工業協同組合/アルテック/イッタラ/
カール・ハンセン&サン/スカンジナビアンハウジング/
スカンジナビアンリビング/フリッツ・ハンセン/ルイスポールセン/
レ・クリント
- <企画協力> ジェイアール東海エージェンシー
- <巡回予定> ジェイアール名古屋タカシマヤ 10 階特設会場
2023 年 4 月 20 日 (水) → 5 月 7 日 (日)
大阪高島屋 7 階グランドホール
2023 年 8 月 9 日 (水) → 8 月 20 日 (日)
- <ホームページ URL> ※2022 年 12 月 20 日 (火) 17 時公開予定

<https://www.takashimaya.co.jp/store/special/hokuou/index.html>

※都合により、催し内容・会期等が変更または中止になる場合がございます。
最新の情報は各高島屋のホームページをご覧ください。

【広報用画像申請】

画像申請用 URL https://www.dropbox.com/sh/67trb058qswg2ja/AAAgA6RZvEKti_dQme9wtPF1a?dl=0

広報用画像をダウンロードのうえ、所定のキャプションを掲載してください。



<キャプション>

- 1 東海大学名誉教授・北海道東川町家具デザインアドバイザー 織田憲嗣氏
- 2 ハンス J・ウェグナー《ピーコックチェア》 1947 年デザイン 撮影：Kentauros Yasunaga
- 3 タピオ・ヴィルカラ《ボッレ》 1967 年デザイン 撮影：Kentauros Yasunaga
- 4 ビルゲル・カイピアイン《プレート》 1960 年代デザイン 撮影：Kentauros Yasunaga
- 5 イエンス・クイストゴー《トルン》 1960 年代デザイン 撮影：Kentauros Yasunaga
- 6 現存は世界で唯一 ベント・ヴィンゲ《イーgerチェア》 1958-59 年デザイン 撮影：大塚友記憲
- 7 世界に 2 点 ハンス J・ウェグナー《ザ・チェア プロトタイプ》 1949 年デザイン 撮影：大塚友記憲
- 8 最初期の作品 アルヴァ・アアルト《カンチレヴァーチェア》 1931-32 年デザイン 撮影：大塚友記憲
- 9 サヴォイフラワーベースの特大サイズの吹き込み型 撮影：大塚友記憲
- 10 コーア・クリント《デッキチェア》 1933 年デザイン 撮影：大塚友記憲
- 11 エリック・グンナール・アスプルンド《セナラウンジチェア》 1925 年デザイン 撮影：大塚友記憲
- 12 タピオ・ヴィルカラ《アイスブロック》 1952 年デザイン 撮影：Kentauros Yasunaga
- 13 カイ・ボイスン《ライオン》 1960 年代デザイン 撮影：Kentauros Yasunaga
- 14 ニルス・ランドベリ《チューリップグラス》 1956 年デザイン 撮影：Kentauros Yasunaga
- 15 本編イメージカット 撮影：Maya Matsuura